

平成 30 年度
芽室町議会モニター会議
総括報告書



平成30年度の芽室町議会モニターの活動では、329項目の提案・意見をいただきました。また、各常任委員会の抽出政策・事務事業や議会運営のほか、町政・まちづくりへに関するご意見として185項目が寄せられました。議会運営については、議会だよりやホームページ、SNSなど多様な媒体を通して議会への関心を高め、町民の提案や意見を汲み取るためのツールへの提言、モニター制度のあり方などについて意見をいただきました。町議会では、いただいた提案・意見をしっかりと議論を行い、より進化した議会モニター制度の運用を進めていきます。

平成31年7月

H30 議会モニター活動

1 議会運営への提言 (件数)

番号	内容	H27	H28	H29	H30
1	レポート件数	20 通	28 通	18 通	20 通
2	レポート意見件数※(1)	32 項目	29 項目	26 項目	23 項目
3	意見交換会回数	3回	4回	3回	3回
4	意見交換会・意見件数※(2)	90 項目	342 項目	228 項目	185 項目
5	モニター間意見交換会	—	—	—	—
6	モニター間・意見件数	—	—	—	—
7	アンケート調査 ※(3)	35 項目	43 項目	68 項目	121 項目
	提案項目合計	157 項目	414 項目	322 項目	329 項目

【※(1)レポート意見件数の内訳】 (件数)

番号	分類項目	H27	H28	H29	H30
1	議会だより・HP・SNS	7	1	2	1
2	本会議	3	5	1	0
3	委員会・議員協議会	1	4	2	0
4	議会報告会・意見交換会	1	0	2	1
5	議会改革・活性化	10	4	1	4
6	議員との意見交換会	4	8	8	4
7	町政・まちづくり	6	6	10	13
	計	32 項目	29 項目	26 項目	23 項目

【※(2)意見交換会・意見件数の内訳】 (件数)

番号	分類項目	H27	H28	H29	H30
1	議会だより・HP・SNS	0	1	2	3
2	本会議	0	0	2	0
3	委員会・議員協議会	0	3	0	0
4	議会報告会・意見交換会	0	0	2	0
5	議会改革・活性化	8	70	69	27
6	議員との意見交換会	5	15	3	0
7	町政・まちづくり	42	163	27	23
8	抽出政策・事務事業	35	90	123	132
	計	90 項目	342 項目	228 項目	185 項目

【※(3) アンケート調査の内訳】

番号	分類項目	H27	H28	H29	H30
1	議会だより・HP・SNS	4	24	11	7
2	本会議	0	0	0	0
3	委員会・議員協議会	0	0	0	0
4	議会報告会・意見交換会	0	1	0	1
5	議会改革・活性化	0	1	1	2
6	議員との意見交換会	1	0	8	8
7	町政・まちづくり	6	0	4	9
8	抽出政策・事務事業	24	17	44	94
	計	35 項目	43 項目	68 項目	121 項目

2 モニター会議(議員との意見交換会)

会議等	日時	場所	参加数
議会モニター委嘱状交付式・ 説明会及び第1回モニター会議	H30.8.8 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	16
第2回モニター会議	H30.12.13 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	9
第3回モニター会議	R1.6.20 18:30-20:30	中央公民館2階 講堂	10
計3回			35

3 議会傍聴・議員研修会・議会フォーラムなどへの参加

内容	件数(H27)	件数(H28)	件数(H29)	件数(H30)
議会傍聴	6	21	12	39
議会フォーラム	3	4	4	4
議員研修会	4	3	6	5
計	13 人	28 人	22 人	48 人

平成 30 年度の議会の主な動き

5月1日	通年議会開会
6月1-22日	6月定例会議開会
6月6日	第1回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第5期総合計画策定状況等）
6月20日-21日	第2回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第5期総合計画実施計画案）
6月20日	H29年度第3回モニターを開催
7月3日	議員研修会（北海道町村議会議長会）
7月4日	議員研修会（北大公共政策大学院連携研修）
7月2日	7月臨時会議開会
7月11-13日	総務経済常任委員会先進地事務調査（天塩町、中頓別町／公共交通システム事務調査、東神楽町／中心市街地活性化、新規起業者の参入促進・支援）
7月23日	第3回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第5期総合計画基本目標等）
7月24日	7月第2回臨時会議開会
8月2日	傍聴人受付簿のあり方に関する検討
～12月3日	
8月8日	第1回議会モニター会議を開催
8月20日	第4回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（第5期総合計画基本構想・施策体系）
8月24日	議選監査制度の選択制に関する検討
～11月15日	
9月1日-10月1日	9月定例会議開会
10月12日	白樺学園高等学校との包括的連携協定締結
10月19日	第1回議会改革諮問会議を開催
11月6日	議員研修会（十勝町村議会議長会）
11月9日	11月臨時会議開会
11月14日	議員研修会（スキルアップ！議員間討議）
11月17日	議員研修会（これからの議会・議員に期待するもの）
11月8日	議会報告と町民との意見交換会（6つの単位PTAと
～12月11日	実施）
11月30日	第2回議会改革諮問会議を開催
12月3日-21日	12月定例会議開会
12月19日	茅室高校生徒との意見交換会

12月13日	第2回議会モニター会議を開催
12月21日	第5回総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会を開催（公共施設等再配置構想）
1月18日	第3回議会改革諮問会議
2月2日	議会未来フォーラムⅣを開催
2月5日	2月臨時会議開会
2月6日-7日	白樺学園高校との関係協定事業
3月1日	第4回議会改革諮問会議（答申書を議長へ手交）
3月4日-20日	3月定例会議を開会

- 定例会議 6月（6/1～22）、9月（9/3～10/1）、12月（12/3～21）、3月（3/4～20）（14日）
- 臨時会議 5/1、7/2、7/24、11/9、2/5（5日）
本会議 計19日（道内町村議会平均13.8回）
- 予算決算特別委員会（12回）
- 役場庁舎建設に関する調査特別委員会（4回）
- 第5期芽室町総合計画審査特別委員会（4回）
特別委員会 計20回（道内町村議会平均15.2回）
- 議会運営委員会（28回開催）（道内町村議会平均11.1回）
- 総務経済常任委員会（23回開催）
- 厚生文教常任委員会（16回開催）
常任委員会 計39回（道内町村議会平均19.0回）
- 合同委員会・連合審査会（7回開催）
- 全員協議会（10回開催）（道内町村議会平均8.6回）
公的会議回数 計123回（道内町村議会平均67.7回）
本会議議件数 計137件（道内町村議会平均96.3件）
- 議員研修会（6回開催）
- 一般質問者数 24人（延べ）
- 会議傍聴者数 計312人（本会議117人、委員会183人、全員協12人）
- 議会だより発行ページ数 計140ページ（12か月）
- ホームページ年間アクセス件数 計11,629件（ネット中継11,848件）
- 議会報告と町民との意見交換会（議会フォーラム）参加者数 計290人（11会場）
- ホットボイス件数 計0通
- SNS登録者数 計1,578人（Facebook720人、LINE429人、twitter429人）

H30 芽室町議会活性化計画主要事業

- 1 議会政策形成サイクルの進化（議会基本条例 第2条（2）、第12条、第13条）
→ 政策立案に至るプロセスの強化と見える化を図ります。
- 2 町民との意見交換会の深化と充実（多様な住民参加機会の創出）
（議会基本条例 第4条(2)、第8条（1・5））
→ 多様な世代、立場の住民がまちづくりに関わる「場」創りを進めます。
- 3 議員間討議（自由討議）の強化（議会基本条例 第3条(3)、第5条(2)、第16条）
→ 議論を集約し政策立案へ繋ぐためファシリテーション力と対話力向上を図ります。

（暫定）R1 芽室町議会活性化計画主要事業

- 1 議会政策形成サイクルの進化（議会基本条例 第2条（2）、第12条、第13条）
→ 政策立案に至るプロセスの強化と見える化を図ります。
- 2 町民との意見交換会の深化と充実（多様な住民参加機会の創出）
（議会基本条例 第4条(2)、第8条（1・5））
→ 多様な世代、立場の住民がまちづくりに関わる「場」創りを進めます。
- 3 議員間討議（自由討議）の強化（議会基本条例 第3条(3)、第5条(2)、第16条）
→ 議論を集約し政策立案へ繋ぐためファシリテーション力と対話力向上を図ります。
- 4 []

H30 芽室町議会活性化策 14 事項・評価

■前年度からの懸案事項	取組結果	取組内容
1. 議会図書室機能の整備	C	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等「図書館要綱」の策定など、議会図書室設置に関するあり方の研究を行う。 →電子図書室の整備により議員の利用面では機能強化を進めてきている。一方で、町民等の利用を含む議会図書室の公開・保管等の管理ルールは、新庁舎供用後の図書室運用に向け、次年度以降、整理をしていく。併せて電子図書室データの管理ルールも検討していく。
2. 公聴会の検討	D	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて開催するため、先進実施事例等の研究は継続する。 →開催を要する案件がなかったことから、必要な事例が生じる際に、改めて研究する。
3. 町民意見の協議経過の明確化	B	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより・HP等で、意見から政策に繋がった実例を適宜紹介する。(意見交換で出された意見がどのように協議され政策に生かされたのか明確化を検討) →適宜、議会だより紙面で掲載しており、今後も適宜、議会だより紙面で掲載していく。
4. 情報提供と説明の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> ・町民と議員が気軽に意見交換できる場の街中での開催を検討する。 →これまでの住民参加手法での意見交換を積み重ねてきているが、「街中での開催」に絞っての検討はしていない。今後、住民参加手法全体のあり方の視点で、継続的に、時期を明確にして検討していく。
5. ICTの継続的な活用	D	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの電子化(アプリ対応)の検討を行う。 →アプリ化の検討は実施していない。ICT活用強化策は、ホームページ強化など別の視点で検討していく。
6. 傍聴意欲の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・記名式による傍聴人受付簿のあり方について研究する。 →傍聴人の住所・氏名等の記載目的、傍聴手続きと傍聴意欲向上、手続きを廃止した場合のメリット・デメリットについて議論

		を行った。傍聴人受付簿が無くなることで抵抗感なく気軽に傍聴に臨める効果も期待できることから、傍聴手続きの廃止を含む、傍聴条例改正を行った。
■ 議会改革諮問会議の提言事項	取組結果	取組内容
7. 議会モニター制度の機能拡充	B	①モニター制度に関する情報発信を強化・工夫する。
8. 議会フォーラムの改善	B	①情報発信手段・手法の改善・工夫を行う。 ②町内在住の子どもたちとの意見交換を行う。 ③参加する町民に合わせたテーマ設定・開催手法を工夫する。 →①③議会日より、SNS の他、街中の店舗等へのポスター貼付、広告 WEB への情報掲載と申込の受付を実施し、集客の強化を図った。 ②未来フォーラムⅣにおいては、多様な世代の町民を対象として新たな手法を採り入れるなど対話の場の工夫に努めた。
9. 町民との意見交換会の改善	C	①グループ間の情報共有を進める手法を採り入れる。 ②町民の意見の背景・理由を掘り起こす対話の仕組みを検討する。 →①②町民の意見の背景・理由を掘り起こす対話のあり方について研修を行うとともに、可能なかぎり、ワークショップを採り入れ意見が出やすい仕組みづくりに努めた。 ③行政・まちづくりに強く関心を持つ町民層を対象とした意見交換を検討する。 →③については検討には至らなかったが、対象とする町民層含めて、町民との意見交換のあり方について、早い時期にこれまでの取組みを検証したうえで、今後、適宜検討をしていく。
10. 議会ホットボイスの改善	C	・ホットボイスをきっかけとして、町民の真の課題を掘り下げるための仕組み・工夫を検討する。 →町民の意見の背景・理由を掘り起こす対話のあり方について研修を行うにとどまった。
11. 傍聴意欲の向上	A	①傍聴者に対して、関連資料の配布など、議

(再掲)		案に関連する事前知識を提供する工夫を行う。 ②傍聴に繋がるよう、会議の情報は広く複数チャンネルを活用する。 →議案、資料は傍聴者にも配布をし、議論の理解を促すとともに、議会だよりへのタイムリーな会議情報を掲載、ホームページ、SNS（3手法）を活用し適時、情報掲載・公開に努めた。
■ 議会運営委員会協議事項	取組結果	取組内容
12. 議会の監視・監査機能強化の検討	A	<ul style="list-style-type: none"> 自治法改正による議員選出監査委員の選抜制導入に伴い、議員選出監査委員・議会としての監視・監査機能強化のあり方を検討する。 →議員研修から法改正の概要、ポイントを研修した後に、議会運営委員会を中心に議員選出監査委員、議会としての監視・監査機能強化のあり方をに係る議論、調査を行い、結論を出した。
13. 議会が受けた町に対する町民意見の町との共有	B	<ul style="list-style-type: none"> 町民との意見交換会や傍聴者アンケート等で寄せられた「町に対する意見等」の町との共有のあり方を検討する。 →現状では、議会での町民との意見交換会総括報告において共有されている。
14. 議論におけるグラドルールの設定	A	<ul style="list-style-type: none"> 議員間討議などに活用するためのグラドルール設定と会議への導入を検討する。 →前年度の議員研修を受け、会議のグラドルールを策定、全議員で共有し、日々の会議で運用している。

議会政策形成サイクル等の取組内容・状況

総務経済常任委員会

総務常任委員会委員長 正村紀美子

①地域資源を活かした観光振興

<調査経過>

平成30年5月18日 第2回総務経済常任委員会
平成30年5月29日 第3回総務経済常任委員会
平成30年6月15日 第7回総務経済常任委員会
平成30年8月8日 第1回モニター会議
平成30年10月24日 第14回総務経済常任委員会
平成30年11月8日～12月11日 町内6PTAとの意見交換会
平成30年12月13日 第2回モニター会議

町民との意見交換会では、町が観光振興を進める目的を明確にする必要性や、新嵐山スカイパーク一帯の自然を活かし町民が愛着を持ち誇れる場所にしてほしいという意見がありました。

また議会モニター会議では、「芽室の観光資源すなわち嵐山という固定概念にとらわれ、その他の観光資源が見落とされているのではないか」、「かつてのような集客が見込めるイベントを継続する必要があるが今はそれが出来ていない」、「冬期間以外にも子どもと遊びに行きたいがどの様に楽しめばよいかわからない。情報発信が足りていない」など、多様な視点から本町の観光振興策に対する意見をいただきました。

これらを踏まえた議員間討議においては「町は第5期総合計画において『新嵐山スカイパーク基本方針』を示したが、芽室町の観光資源は新嵐山スカイパークのみならず多くの資源を有することについて着目する議論がありました。

現在取り組んでいる就労キャリア教育観光事業、サイクルツーリズム、芽室遺産の活用など本町独自の体験プログラムや、本町と他地域とをつなぐ道東自動車道を活用した観光振興など、個別の施策・事業を体系化した観光振興計画が必要である」「十勝全体で取り組む観光政策の中で本町が果たす役割について他町村と連携をとりながら本町が目指すべき方向を明確にする必要がある」など、本町の地域資源を活用した観光振興策を推進するにあたり、既存のコンテンツを体系づけるためのコンセプトがないことへの指摘がありました。

3年目を迎えるサイクルツーリズム事業や、現在行われている地域おこし協力隊雇用による観光振興、民間活力を活かした国民宿舎等指定管理者の選考に関するサウンディング調査等の経過を

注視するとともに、今後も本町の地域資源を活かした観光振興の活性化実現に向け、町民の声に寄り添いながら引き続き所管委員会での調査継続が必要であることを確認しました。

②農村地域公共交通手段

＜調査経過＞

平成30年7月11日～12日 先進地事務調査

平成30年8月8日 第1回モニター会議

平成30年11月8日～12月11日 町内6PTAとの意見交換会

平成30年11月9日 第15回総務経済常任委員会

平成30年12月13日 第2回モニター会議

7月11日～12日の2日間にわたり道北の天塩町と中頓別町を訪問し、両町で実施されているライドシェア事業について事業実施に至った背景やその経緯について調査を行いました。

様々な主体による移動手段を確立し地域住民のモビリティ（移動の利便性）を保障する重要性や、将来、確実に訪れる人口減少・超高齢社会に備えるには地域内の未開発資源を有効活用する「シェアリングエコノミー」の概念が重要であることを確認することが出来ました。

町民との意見交換会では、町が事業実施対象予定としている高齢者の移動手段確保策以外に、中高生を持つ保護者や、高齢者の支援を行っている家族からも農村地域における公共交通手段についてのニーズがあるとの意見が寄せられました。

先進地事務調査から得られた新たな概念や、これらの意見を踏まえた議員間討議においては、「農村地域での公共交通手段へのニーズは、町が支援対象としている運転免許証を返納した高齢者だけではなく学生も含めた自力での移動困難な交通弱者すべてにある」、「しかしながら、喫緊の課題解決策として町が推進しようとしている農村地域在住の高齢者の移動手段確立に向け迅速な事業実施を求めていくことが重要である」、「町民から更なる有効活用法の可能性があると意見を頂いたスクールバスの利活用法など、既存の交通資源について研究・検討を継続していく必要がある」について確認しました。

厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会委員長 立川 美穂

①公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

①所管委員会としての取組み

当委員会では、公立芽室病院（以下病院）の四半期ごとの経営状況を調査するとともに勉強会を開催し、安定的な医療体制の維持を求めてきました。

内科医師の不足による患者数の減少、収益の低下、運転資金の不足、借入金の増加など病院経営はかつてない厳しさに置かれています。内科医師不足は入院・外来の患者数にも影響を及ぼし、病床稼働率も3年連続で70%を大きく下回りました。病床数は150床から107床に削減、歯科廃止や産婦人科の休診など診療科目も縮小しており、病院を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を鑑み、平成30年度は抽出事業6項目のうち病院をもっとも重要なテーマと位置づけ町民（議会モニター）と議論を重ねてきました。「病院を支える会」との意見交換会も実施し、議会に対して率直なご意見を頂きました。

②病院に対する町の対応の変化

平成30年12月議会初日、病院事業会計への繰出金およそ1億円の補正予算が提案されました。内容は平成30年8月に改訂された病院改革プランにもとづく「周産期医療に要する経費」と資本的収益の「企業債償還金」への繰出です。繰出金は採算性を求めることが困難な部門への経費と経営基盤強化対策に要する経費であり、総務省の基準に基づき負担するものです。

繰出金の考え方についての質疑では、町は「今回の繰出金で赤字等が解消するとは考えていない」「新年度予算前までに新たな繰出金基準の考え方を整理する」「病院改革プランのさらなる改訂も必要となる」と今後の町の対応を答弁しました。町の方針の変更は病院経営に直結することから時期を逸することなく対応し、議論することが求められています。

③2年間の調査から抽出事業の総括へ

平成30年12月10日に開催したミーティングでは今年度の抽出事業の総括について協議をおこないました。病院について各委員の意見は以下のとおりです。

- ・病院は町民生活に不可欠であり、コスト論だけでは考えられない。繰出金は全議員で「どのようなルールにもとづいて支出するのか」確認すべきだ。
- ・病院には今後も地域医療の拠点として役割を果たしてもらいた

い。

- ・ 病院経営を支えるためにも一般会計からの財政支援は必要である。議会は議決機関であり、財政支援の内容について十分な議論をする必要がある。
- ・ 病院の現状や必要性を病院みずから積極的に発信すべきだ。
- ・ 町も議会も病院問題に必死で取り組んでいることを町民に見える化する。
- ・ 医師確保は最大の課題である。
- ・ 経営改善のため一般会計からの繰出は必要だ。そのための繰出基準を定めることや診療科目など再改訂改革プランについて町と議論を深めたい。
- ・ 議会の取組みを町民に知らせる必要がある。
- ・ 再改訂改革プランの調査は必要である。

④全議員で病院経営の健全化に向き合う

言うまでもなく公立芽室病院は、町民の健康と命を支えてきました。今後も地域医療の中核施設として役割を果たすことが求められており、安定した医療サービスを提供していくためには病院経営の立て直しは喫緊の課題です。

委員からは「病院経営の立て直しは、全議員で共通認識のもと議論を深めたい」「病院が抱える課題はすぐに解決できることではないが、今後も継続して議会が病院問題に向き合っていくための方向性を確立したい」「町の方針が大きく変わった。これを契機に全議員で病院問題に取り組む必要がある」などの意見が出されました。

さらに協議を重ね、①議員全員で繰出基準の考え方を含む病院改革プランの調査を行うこと、②共通認識をもって病院経営の健全化に向き合い、平成31年度予算の議決に臨んでいくことを委員の総意とすることを確認し、次のとおり総括します。

抽出事業「公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展」総括

1. 病院は町民への情報提供を徹底し、理解と協力を求める努力を行うこと
2. 病院に対する財政支援は、困難な局面を乗り切るためには必要であるが、繰出基準の考え方、診療科目などを含む再改訂の病院改革プランについて十分に議論を行うこと
3. 病院事業会計への繰出基準の考え方を含む病院改革プランは全議員で調査を行うこと

②高齢者福祉の充実

高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できることを目標に平成 29 年度、「第 7 期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」が策定されました。

高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活できる適切なサービスの提供が求められています。そのためにも、介護職員の待遇改善と介護サービスの質と量の充実が課題です。平成 30 年度、福祉人材育成を目的として、介護職員初任者研修・有資格者向研修・生活援助従事者研修が実施されました。参加者 10 名のうち 5 名が新規就労を希望しています。

高齢者の福祉の充実には、高齢者の方の社会参加の推進が必要です。「来たくなるような、楽しいことをセット」し人が集まる場所の環境整備が重要です。

③スポーツしやすい環境づくり

温水プールは平成 2 年の開設以来 28 年が経過し、経年劣化などにより施設設備の老朽化が著しく、暖房能力、断熱不足による内部結露の発生など、抜本的な施設改修の時期を迎えています。担当課より、基本構想策定スケジュール、2 案の建設候補予定地、施設及び機能の説明、温水プールに関するアンケート調査結果等の報告がありました。年内に基本構想案を整理し、事業手法が決定されます。

温水プールを含む、周辺の社会体育施設のあり方や施設の複合化など今後、課題を整理しなくてはなりません。

また、スポーツ振興において、芽室町と芽室町教育委員会は平成 30 年 8 月、北海道十勝スカイアース（株）と包括的連携協定を締結しました。10 月 1 日より、北海道十勝スカイアースから職員 1 名を地域おこし協力隊として採用しました。子どものサッカー教室や大人や子どもを含めた健康づくりに関する講演会の企画などを行っています。相互に協力しながら、スポーツを通じた魅力あるまちづくりの実現を目指す方針です。

④学校教育の充実

芽室町立小中学校配置計画は平成 30 年度までの計画であり、今年度、平成 31 年度から 35 年度までの配置計画が策定されます。今後の児童生徒数の推移予測、未就学児童保護者アンケートの実施、各学校 PTA との意見交換会の実施、学校教育推進協議会に配置計画案を諮問し策定されます。内容については、現在の配置計画と変更はありません。

奨学金制度、子どもの安全確保、部活動については各委員が質疑や一般質問を行いました。少子化の影響と教育環境の今後のあり方、

部活動の運営の適正化、教員の多忙化解消対策は教育委員会の方針並びに今後の対応について調査し課題を整理しなくてはなりません。また、コミュニティ・スクール導入については教育委員会、学校、地域が十分な共通認識に立って事業が進められていることが重要であり、引き続き調査が必要です。

子どもたちが一日の大半を過ごす「学習・生活の場」である学校、教育環境整備は大変重要です。先生方と子どもたちが向き合える時間を確保するためにも、少人数学級編成が望まれます。現在、第1学年は国の教職員定数法で、第2学年については、北海道の少人数学級実践研究事業により35人学級が編成されています。芽室町では、個に応じたきめ細やかな指導の推進のため、平成27年度より小学校に、町独自の事業として教育活動指導助手を第3学年および第4学年に配置しました。さらに、平成30年度から第5学年および第6学年にも拡大し、すべての学年において少人数学級編成を実現しています。今後も、少人数学級編成の継続が望まれますが、合わせて、国に対して教職員定数改善を求めていく必要があります。

⑤生涯学習の推進

年代を問わず、生涯を通じて学ぶことができる学習の機会、場の提供が求められています。また、何よりも町民自らが主体的に学ぶ意識の醸成が重要です。「社会教育推進中期計画」にもとづく社会教育施策の推進が求められます。

⑥安心して生み育てることができる子育て支援

子どもの居場所づくり事業については、委員会として8項目の論点を整理し、これをもとに調査をしました。貧困を含む様々な課題を抱える子どもたちが地域や大人とのつながりを持ち、課題を早期に発見し対応していくため平成30年1月から事業が始まりました。

多くの議論を経てスタートした事業ですが、今後も課題を整理し事業として継続していく必要があります。

また、発達支援事業やその他子育て支援事業についても調査を行い、子どもや保護者への支援の質の充実を求めました。

子どもの貧困対策は事業として取り組みが始まったばかりです。今後は対象者へ支援が届いているか、不足している支援はないか、支援の質の充実が重要となります。障がい児政策は地域支援に重点をおく事業のあり方や障がい児の相談事業への民間委託など障がい児政策の転換期にあたることから「第1期障がい児福祉計画」や平成30年度に策定される「芽室町発達支援計画」を調査し

ました。

子どもの医療費助成は、平成 28 年度から中学生までを助成対象とし、通院にかかる医療費は市町村民税非課税世帯に限定、入院については全世帯が助成対象となっています。一般質問の答弁から、平成 31 年度から所得制限は撤廃され、中学生まで完全無料化となり、また、これまでは窓口で支払いをした後、町に還付請求をしなければなりませんでしたが、今後はその場で助成を受けられるようになり、申請手続きは不要となる予定となりました。

平成30年度第1回議会モニター会議 意見交換会の概要

平成30年8月8日(水曜)午後6時30分～20時30分
茅室町中央公民館 2階講堂

- 出席：長谷川 修、武藤雅紘、堀切佳寿子、高道 豊、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、松岡みちよ、木村真之、畠山大輔、土井植悟、珠玖謙一、小森真弓、渡邊しのぶ、千田美喜子、池戸朋弘(16人)、議員(16人)
- ・辞令交付・自己紹介の後、早苗議会運営委員長からモニター制度について説明。特に質疑なく、意見交換に入る。

↓総務経済常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 地域資源を生かした観光振興- (Bグループ)

①新嵐山スカイパークの現状について

- ①7月にイベントを開いたがイベントには最適な場所。キャンプしながら参加できるようになればもっと集客があると思う。
- ②老朽化や被災した施設の修繕・復旧に多額の費用が必要なのはわかったが、集客を見込むにはそれらは必要な経費。
- ③これまであった施設がどんどんなくなって、今はパークゴルフやBBQくらいしか楽しめない。子どもと一緒に来ようとは思えない。

[まとめ]

■家族で楽しめる場にしないと、集客が見込めない

■施設の改修は必要

■町民ニーズがどれ位あるのか、調査してみたらよいのではないか

②嵐山は町民にとっての憩いの場であるべきか、町外からの集客を見込む観光資源としてあるべきか

- ①町外から人が来てみようと思える施設になれば町民も足を運ぶのではない

[まとめ]

■町外の人から見て、魅力ある施設になれば、町民も足を運ぶようになる

③新嵐山スカイパークが活性化するには今後、どのような取り組みが必要か

- ①かつて開催していたイベントには魅力あるものが沢山あった。マラソン、駅伝、ハイキング、産業観光まつりなど、復活させたらどうか
- ②全てのイベントを行政が担わなくてもよい。町内の多様な団体が取り組めばよい
- ③食を絡めたイベントは芽室らしくて良い(北見市のカレーライスマラソンのように、食材調達しながら最後にみんなでご飯を食べるような)
- ④いろんなアイデアはあるが、それをやろうとする人、団体が現れない。継続していくのも大変そうだ。
- ⑤天空カフェも人気だったがスタッフは大変だったし継続が目的ではなかった。
- ⑥イベント開催が、嵐山の収益につながるような良い循環を創り出せるとよい。

[まとめ]

- 嵐山には豊富な資源があるので必ず集客が見込めるはず
- これまでのように「食」だけにこだわらず、嵐山を含めた芽室町全体の観光資源としてもPRに取り組む
- イベントを企画しても継続できない。ここに現状から脱却する鍵があるのではないか

(2) 農村地域公共交通手段- (Aグループ)

①全体を通して

- ①高齢者だけでなく、学生や障がい者も含めるべき
- ②デイサービスの車はまわっているので利用できないものか。
- ③スクールバスの時間帯等、もっと周知したら利用者も増えるのではないか。
- ④公立芽室病院で車を出せないものか。
- ⑤農村地域の高齢者が病院の近くやまちなかに住めるような施策を考えるべき。

②ライドシェアについて

- ①海外でライドシェアを体験したことがあるが、現在多くの国でやっているようだ。
- ②日本はもっと規制緩和をすすめて、ライドシェアもやっていくといいのでは。
- ③交通事故のことが少し心配。

③定住対策

- ・芽室から出ていった若者が帰ってこられるような施策が必要。
- ・移住者対策をすすめてほしい。

↓ 厚生文教常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展（C、Dグループ）

① 医師の確保

- ① 医師確保は難しいが努力してほしい。
- ② 信頼できる医師の確保が必要。名医がいることで患者も増える。
- ③ 患者は名医についていく。
- ④ 長く勤務してもらえる医師確保が必要。勤務期間が短いのに退職する医師が多い。
- ⑤ 道外にいる医師の確保をする。
- ⑥ かつては産科医師の評判が良かった。
- ⑦ 「子育てしやすい町」を標榜するなら小児科医師の確保は必要
- ⑧ 医師が来ない理由のひとつに、かつては大学の指示で勤務病院が決まっていたが、今は医師が病院を選ぶ制度に変わったことがある。
- ⑨ 若い医師は子どもの教育も考えて田舎には転勤したがる。

② 診療科の見直し

- ① 不採算の診療科は廃止する
- ② 公立病院としてそれなりの診療科があればよい
- ③ 診療科を限定する。特化した診療科があることで町外からも患者が来る。診療者数も増え収益増につながる。
- ④ 産婦人科の充実が必要
- ⑤ 産科のある病院が減っており公立病院の存在意義は大きい。
- ⑥ 産科は特色のある診療科であり、近隣市町村にアピールする。
- ⑦ 皮膚科があるとよい。

③ 財政支援

- ① 町民の安心安全のためには公立病院は必要だと思うが、どこまで資金を支援できるのだろうか。
- ② 自分の住んでいる町に病院があることに安心感がある。大変な状況は理解するが、存続してほしい。
- ③ 将来のためにもローカル性を維持しつつ存続してほしい。
- ④ 将来を担う子どもにとって公立病院は大きな財産である。
- ⑤ 帯広への通院は高齢者にとって困難。存続してほしい。
- ⑥ 公立病院が存続できるよう一般会計からの支出は必要である。
- ⑦ 数字のことはよくわからないが、大変なことばかりではなく、「ここが良い」ということをもっとアピールしてほしい。
- ⑧ 赤字になった理由を説明しているが、その対策が次年度に反映され改善さ

れているのか。改善されているのであれば利益が出て、いずれは結果がついてくると考える。

(財政措置の状況)

一般会計からの繰入金は4億3000万円。内訳は公立病院に対する交付税措置を1億5000万円と見込み、2億8000万円は単費からの支出。

④ 町民への情報提供

- ① 病院の状況を知ってもらえるような方策を検討する。
- ② 年に1～2回程度、病院のあり方を検討するため町民が参加できる会議を開催する必要がある。
- ③ 病院経営が厳しい状況にあることを町民に知らせる。
- ④ 病院の問題は医師、職員不足だけではないと思う。
- ⑤ いつも混んでいて公立病院の患者が減少していると思えない。
- ⑥ 住民の声、不満、要望を出しやすくしてほしい。

(意見聴取について)

病院における診療についてはホットボイスでは取り扱わない。病院では「住民の声を聞くコーナー」を設置している。

⑤ 病床数の減少

- ① 病床数を削減することで収益の改善が図られるのか
- ② 交付税算定方法は「許可病床数」から「稼働病床数」に変更になった。病床数と交付税は連動しているので単純に収益が増加するとは言えない。
- ③ 入院する患者がいないのであれば病床を削減してもよい。

⑥ 休日診療

- ① 土曜日でも診療して患者を増やす。受付終了時間が16時30分では働く人は利用できない。受付時間の延長を希望する。
- ② 他病院が休診している土日祝日に営業する。

⑦ 予約時間

- ① 予約しても待ち時間が長い
- ② 予約、医師の変更は電話でできるようにしてほしい(すでに実施している)

⑧ 働きやすい職場づくり

- ① 職員が安心して子育てでき、働きつづけられる環境づくりが必要である。
- ② 公立病院で働く人を確保するためにも子育てしやすいまちづくりは必要である。



平成30年度第2回議会モニター会議 意見交換会の概要

平成30年12月13日(木曜)午後6時30分～8時30分
芽室町中央公民館 2階講堂

■出席：長谷川 修、堀切佳寿子、加藤順子、松岡みちよ、坂田恵子、
畠山大輔、土井慎悟、珠玖謙一、千田美喜子(9人)、議員(16人)

・青森中央学院大学准教 佐藤 淳 准教授の進行により、各常任委員長からディスカッションテーマの政策課題について調査等進捗状況の報告・説明の後、意見交換を行った。

↓総務経済常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 地域資源を生かした観光振興 (Bグループ)

①テーマに対する現状認識

- ・芽室町の観光資源＝嵐山という固定概念化を取り払う事が難しく、そのほかの観光資源を見落としている
- ・訪れてもお金を使い場所がない。宿泊施設も少ない(ビジネス用途以外)
- ・夏場に子どもと遊びに行ける場所がない
- ・「嵐山」は意外と町民にも認知度が低い。どうやって遊んでよいのかわからない(ハイキングに行こうと思っても、何処から登ってよいかよくわからない)
- ・本当に多くの町民にとって本当に親しみのある場所なのか
- ・人が集まるイベントがないこと、イベントを継続できない事。ここにこれからの課題解決のヒントがあるのではないか
- ・観光地＝何度も行きたくなる場所、町民以外の人も楽しめる場所

②テーマに対するありたい姿

- ・芽室らしいスタイルの観光(例)農園でキャンプ
- ・観光客が滞在できる場所にする
- ・町内に沢山ある工場ツアーが気軽にできると、季節、天候に関わらず楽しめるそう

③ありたい姿実現のために取り組まなければならないこと

①町民

- ・客の流れをつくる工夫と努力
- ・豊かな食をPRする

②議会

- ・町民の声を丁寧に聴き、ニーズを把握する(本質を突き止める)

③行政

- ・新嵐山スカイパークの活性化には全力で取り組む
- ・観光戦略、PR戦略をつくる。「芽室といえど？」の売り、推しを見つける

(例)生産量日本一のスイートコーン戦略

(例)ゲートボール発祥の地で町の経済活性化



(2) 農村地域公共交通手段 (Aグループ)

①テーマに対する現状認識

- ・自分がゆくゆく問題となる身近な問題だと思った。
- ・子どもが高校に入学したら送迎しなければいけないという課題がある。
- ・スクールバスの活用について、朝はいっぱい乗れない。時間が早いので病院などにはいいが、買い物だと時間が合わない。
- ・スクールバスの現状を調査する必要がある。
- ・高校生は、夏は自転車があるが、冬は親の送迎が必要。
- ・高校として寮を持っているところはほとんどなく、下宿に入っている生徒もいる。

②テーマに対するありたい姿

- ・免許を返納したら1日でいろいろな用事を済ませたい。タクシーが便利だと思う。
- ・自動運転の技術が発展したら変わってくる部分があるかも。(運転しなくても行きたいところに行けるようになる)

③ありたい姿実現のために取り組まなければならないこと

①町民

- ・困っている人同士で話し合う機会をつくる (課題の共有)

②議会

- ・スクールバスの現状調査

③行政

- ・ライドシェア、デマンドバスで解決できる部分もある。(事故が心配)

↓厚生文教常任委員会

1 抽出政策・事務事業

(1) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展（Cグループ）

※太字がまとめ

①テーマに対する現状認識

- ・病院を存続してほしい（複数あり）
- ・公立であるがゆえ、必要な病院
- ・病院の経営はいったいどうなっているのか心配
- ・公立芽室病院が無くなったら、どこへ行けばよいのか不安
- ・病院は必要である
- ・公立病院だからこそ安心感がある＝利潤追求していない

②テーマに対するありたい姿

- ・個人病院の様なフレンドリーな雰囲気が欲しい
- ・安心して入院できる環境
- ・医療スタッフと信頼関係が持てること
- ・院内の医師と看護師の良い関係
- ・看護師は患者に優しい言葉をかける
- ・待つ時間が短いこと
- ・黒字化に向うこと
- ・何時でも見てもらえる病院
- ・患者と医療スタッフとの信頼関係が良いこと



③ありたい姿実現のために取り組まなければならないこと

①町民

（意見無し）

②議会

- ・病院の経営改善が行われよう、四半期ごと経営状況を検証し、必要があれば、財政支援の繰り出金を予算で決議する
- ・各種団体や一般町民からの意見を届ける

③行政

○病院は

- ・病院の情報を自ら発信しPRする
- ・病院の良さをアピールする
- ・すまいるの記事を拡大して院内に貼る
- ・看護師は患者に優しい言葉をかけるよう心がける
- ・在宅医療も充実する
- ・専門医がいる病院にする

○行政は

- ・ 良いすぐれた医師・病院スタッフを確保する
- ・ 経営改善のために病院スタッフからの意見を聴取する
- ・ 病院を理解してもらうため、読んでもらえる紙面に工夫する

(2) 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展 (Dグループ)

① テーマに対する現状認識

- ・ 町民として総合病院を存続してほしい。無くしたくない。
- ・ もっと利用したくなるような病院にするために考えたいと思った。
- ・ 第1回目のモニター会議で、興味・関心を持った。
- ・ 子育ての時、小児科があって産科もあって助かった。
- ・ 駐車場が広く利用しやすい。
- ・ 救急医療の存在は心強い。
- ・ 時間を自己管理できる年齢層は町外の病院、個人病院に通院する傾向があるのではないか。(交通手段がある年齢層も含め)
- ・ 医師不足は本当に大きな課題である。
- ・ 現状をしっかりと情報提供する場が必要である。
- ・ 農村地区に住んでいる方に対しては、バス等の送迎が必要ではないか。

② テーマに対するありたい姿

- ・ 受付時間の延長。予約制の導入。土曜日診療も必要である。
⇒子育ての時期は、一日に生活の時間をどのように使うかが課題。
- ・ 医師との信頼関係をいかに作っていくかが大切である。
- ・ 民間と同様なサービスの提供が必要である。(お客さんという意識)
- ・ 特化した専門医の先生が必要である。

③ ありたい姿実現のために取り組まなければならないこと

① 町民

- ・ 町民が病院を利用することが大切である。
- ・ 町民がしっかりと、病院の現状を知ることが大切である。

② 議会

- ・ 国などへ要請。
- ・ 町民の意見、声を反映していく。

③ 行政

- ・ 意見交換の場、提案の場の設定が重要である。
- ・ 改革、改善点を町民にしっかりと伝えることが重要である。
- ・ 情報発信の改善が必要である。(SNSの開設・HPの充実など)

平成30年度第3回議会モニター会議 意見交換会の概要

令和元年6月19日(水曜)午後6時30分～8時30分
芽室町中央公民館 2階講堂

- 出席：堀切佳寿子、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、小森豊弘、坂田恵子、畠山大輔、珠玖謙一、渡邊しのぶ、千田美喜子(10人)、議員(16人)
- ・各グループに分かれ、主に「モニター活動を振り返って」「これからのまちづくり(政策)」について意見交換する。

↓総務経済常任委員会

1 モニター活動を振り返って

(1) 議会だよりについて

- ①モニターになってから議会だよりを見るようになった。スマイルと一緒にアプリで見られると良い。高校生でも見られるのではないかな。
- ②年配の人は紙の情報じゃないと使いこなせない。
- ③広報と一緒に配られるので、モニター用に郵送しなくても良いのではないかな(2冊もいらない)。

(2) モニター活動について

- ①町について考えるようになった。親近感が沸いた。
- ②フォーラムに参加して、勉強になった。
- ③議会や議員、町づくりについて関心をもつようになった。
- ④予算や町の事業がどのように決まっていくのかが解った。
- ⑤議員の資質の向上に役立てば良いと思う。
- ⑥懇親会があっても良いかも。
- ⑦モニターにも議会の情報をダウンロードできるようにしていただくと助かる(議員はタブレットで、モニターは紙?)
(議員) 町民の声をあまり聞いていなかったのだから、モニターの皆さんからのいろんな意見を聞くことができたことは大きい、実際の政策に活かせる。
(議員) モニター制度は、議会のことを知ってもらい、理解者を増やす目的で始まった。今後、モニターOBの繋がりを作っていくことができないか考え

ている。

(議員) 忙しくてモニターをやっている余裕がないという声がある。

⑧農村のことは農村に住んでいる方に聞くのが一番ではないか。

⑨農村に住んでいる両親を、(市街地に住んでいる)私が帯広の病院への送迎をしていたことがある。高齢者の移動手段の確保は大事と実感している。

(議員) 議会は色々なことをやっていることも知ってもらいたかった。テーマの出し方は今後の課題としたい。

⑩意見を言って採用されたものはあるか？

(議員) 明確な形になったものは無いが、(モニターの)声・考え方は議員に届いている。無駄にはなっていない。

(議員) 公立病院の件では、モニター会議の意見・PTA の意見等を並べて検討して政策をまとめていっている。

(議員) モニター会議で出た話から一般質問につなげていった経験がある。モニターさんの意見は大変勉強になっている。「観光は嵐山だけではない」とのモニタ

ーさんの意見にはハッとさせられた。

(議員) 何故このテーマが出てきたか、テーマに対しての掘り下げが足りないのかもしれない。

(議員) モニターさんの意見が通ればやる気になるのではないか。

⑪モニターの意見が政策の一助になっていることが分かればやる気も出る。

⑫自分の問題を議員に伝える場があるのは助かる。市街地がなくなってしまう(コンビニとスーパーしか残らない)のではないかと危惧がある。

⑬モニターになって、議会、議員、町づくりについて関心を持つようになった。

⑭モニターの発言がどのように政策に反映しているのかを「見える化」することが、モニターのモチベーションアップにつながっていく。

2 これからのまちづくりについて

(1)文化・芸術

①図書館が充実している。

②芸術・文化が弱い... 施設が貧弱

③文化鑑賞の実行委員をやったことがあるが、公民館で物販ができない(講師の本やDVDを売れない)。

(議員) 施設が貧弱なので、有名なミュージシャン等は来ない。

(議員) 芽室の文化はカラオケ？

(議員) 体育館は立派なので、スポーツは盛ん。

(議員) 吹奏楽は小・中・高とレベルは高い、基礎はある。

(2) 経済

- ①不満もないけど、(芽室には) 何もない、買い物は帯広へ行ってしまおう。
- ②若い人のライフスタイルが変わってきている。買い物に行かない(ネット通販の利用)。
- ③愛菜屋には、他町村からも来る。
- ④芽室といえば(嵐山よりも) 愛菜屋。

(3) まちづくり

- ①若い人が町づくりに携わることが少なくなっている。どうやって増やしていったら良いか判らない。
(議員) 個人的な趣味のことはやるが、PTA・町内会の担い手が少ない。
(議員) 定年が延長傾向にあり、地域に戻ってこない、地域力が落ちてきている。
- ②今年、育児サークルが無くなった。「育児ネットめむろ」はある
(議員) 女性のライフスタイルも変わってきている。地域に母と子の姿が少なくなった。

○まとめ

- ・文化・芸術の(施設)環境が整っていない。
- ・ライフスタイルの変化、価値観の多様化の中で、いかに町づくりにかかわる(関心を持ってもらう)人材を育成していくかが課題。

↓厚生文教常任委員会

1 モニター活動を振り返って

(1) モニター会議について

- ①テーマが決まっていて話しやすかった。
- ②与えられたテーマや決められたグループではない手法で話し合ってみたかった。
- ③最後の発表を担当するのが負担。
- ④午後6時半開会は、子どものサポート、家事、仕事の都合を整えるのが難しい(女性)。

(2) モニター活動について

- ①議会だよりを読むようになった。

- ②まちづくりへの関心が芽生えるきっかけになった。
- ③モニター同士の意見交換が楽しかった。
- ④多様な議員の多様な視点が活かされていることが分かった(議員活動への理解)
- ⑤自分の意見を直接とどけることができた。
- ⑥議会だよりに掲載するモニターレポートは匿名(顔写真、氏名の掲載なし)のほうが率直な意見が言える。
- ⑦町の広報誌と一緒に議会だよりが届くので、モニターあての送付は必要ない。
- ⑧「モニター」の名称を変えてみてはどうか。より気軽に応募してもらえないだろうか。
- ⑨自分の意見がどの様に政策に反映されたのかが不明。見える化が必要。

2 これからのまちづくりについて

(1) 暮らしやすい環境整備について

- ①芽室は「なんとなく」住みやすい町➡コンパクトな町の設計?
- ②町民にとって、議員、町長が身近な存在➡町民参加が活発?
- ③他自治体と比較して、教育活動への支援が手厚い。
- ④計画的な修繕を行っている町道だが、現状に合わせた対応も必要。(ひばり公園の土手、美生川周辺の狭小道路)。
- ⑤子育て世代が働きやすい環境が必要。学童の定員や低学年優先など工夫が必要
- ⑥町の良いところをもっと町外に発信した方が良い(左欄参照)。

(2) 公立芽室病院について

- ①ケガをした際の対応が良かった。救急外来があってよかった。
- ②子育てのために芽室町移住を選択した際の決め手の一つが町の中に総合病院があったことだった。病院にまた元気を取り戻してほしい。

(3) 社会教育活動について

- ①利用しやすい公共施設運営をして欲しい。
 - ★退勤後でも開館している図書館
 - ★利用しやすい地域福祉館の管理
 - ★公民館の予約利便性の向上(早期から予約したい)
- ②スポーツばかりではなく、文化活動の振興策が必要。
- ③中高年の生涯学習の場の復活(シニアカレッジ)。

(4) その他

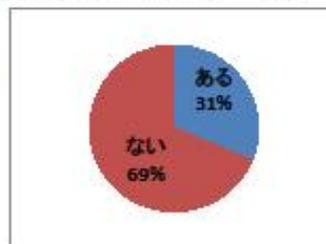
- ①空き店舗が目立つ商店街でシャッター・アート選手権開催
- ②買い物スタンプカードは高齢者も対象に（町内での買い物喚起になる）
- ③職員の挨拶（まちなかでも町民に挨拶を）

議会モニターアンケートの結果(参考)

□ 実施時期	令和元年6月
□ 対象者	20
□ 回答者	16
□ 回答率	80.0%

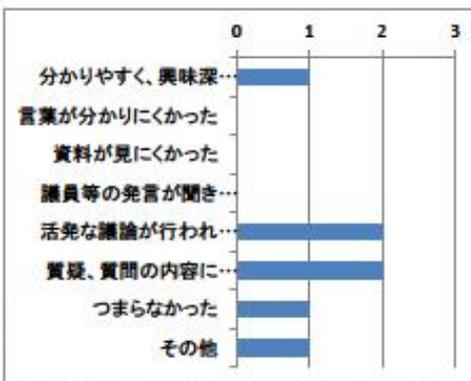
問1 議会（委員会等を含む）を傍聴したことがありますか（インターネット中継を除く）。

1 ある	5
2 ない	11



問2 問1で「ある」と回答した方に伺います。傍聴した会議の印象はいかがでしたか（複数回答可）

1 分かりやすく、興味深かった	1
2 言葉が分かりにくかった	0
3 資料が見にくかった	0
4 議員等の発言が聞き取りにくかった	0
5 活発な議論が行われると感じた	2
6 質疑、質問の内容に満足できなかった	2
7 つまらなかった	1
8 その他	1



※資料に記載されている文章を読み上げるだけ、当事者以外の人はそこに居るだけの感じがしました

問2 (2) 問1で「ある」と回答した方に伺います。議場の傍聴席はいかがでしたか。

1 良い	4
2 良くない	0

問2 委員会室の傍聴席はいかがでしたか。

(3)

1 良い 3

2 良くない

※委員会傍聴したことが無い

問3 問1で「ない」と回答した方に伺います。傍聴したことがない理由は何ですか。

1 議会に興味がない 0

2 仕事で時間が合わない 10

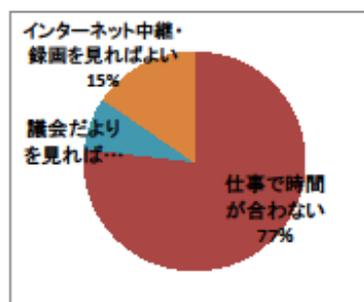
3 面倒である 0

4 会議の開始日程が分からない 0

5 議会だよりを見ればよい 1

6 インターネット中継・録画を見ればよい 2

7 その他 0



問4 議会に関する情報をどのように得ていますか（複数回答可）

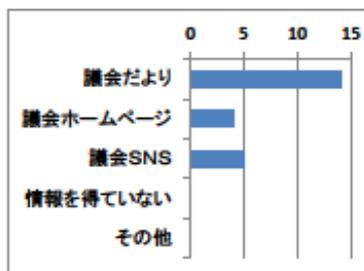
1 議会だより 14

2 議会ホームページ 4

3 議会SNS 5

4 情報を得ていない 0

5 その他 0

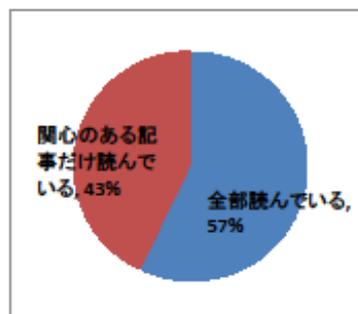


問5 議会だより（毎月発行）を読んでいますか。

1 全部読んでいる 8

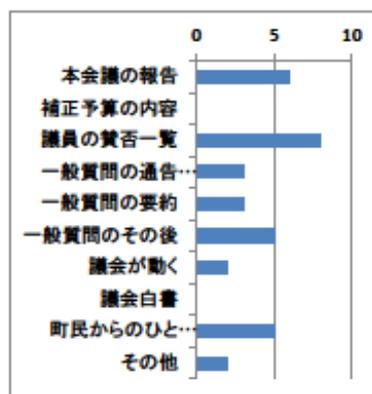
2 関心のある記事だけ読んでいる 6

3 読んでいない 0



問6 問5で「全部読んでいる」「関心がある記事だけ読んでいる」と回答した方に伺います。議会だよりで良く読む項目は何ですか。（3つまで選択可）

1 本会議の報告	6
2 補正予算の内容	0
3 議員の賛否一覧	8
4 一般質問の通告内容	3
5 一般質問の要約	3
6 一般質問のその後	5
7 議会が動く	2
8 議会白書	0
9 町民からのひとこと	5
10 その他	2



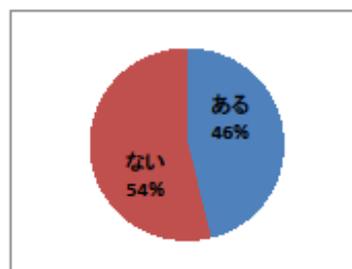
※その他に気になる情報があれば
※一度目を通す程度

問7 議会だよりの感想、要望等を自由にご記入ください。

【別紙参照】

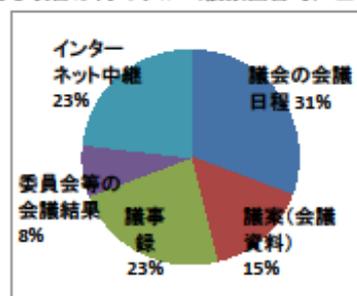
問8 議会ホームページをご覧になったことはありますか。

1 ある	6
2 ない	7
3 無回答	0



問9 問8で「ある」と回答した方に伺います。良く見る項目は何ですか（複数回答可）□
(1)

1 議会の会議日程	4
2 議案（会議資料）	2
3 議事録	3
4 委員会等の会議結果	1
5 インターネット中継	3
6 その他	0



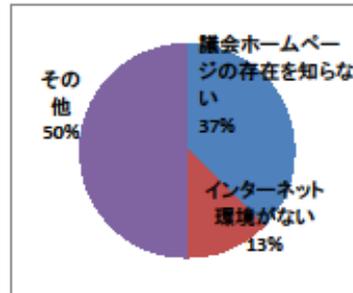
問9 ホームページの感想、要望等を自由にご記入ください。
(2)

【別紙参照】

問10 問8で「ない」と回答した方に伺います。議会ホームページを見ない理由は何ですか。

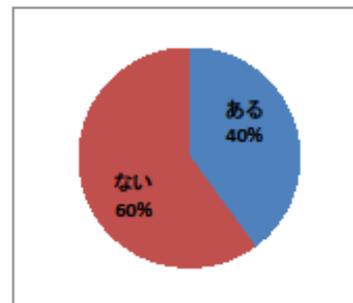
1 議会ホームページの存在を知らない	3
2 インターネット環境がない	1
3 興味がない	0
4 その他	4

※議会だよりの方が見やすい
※その他でHPを開いてまで確認することがない為
※SNS等情報があるので開いてまでは見なくてもいいかな



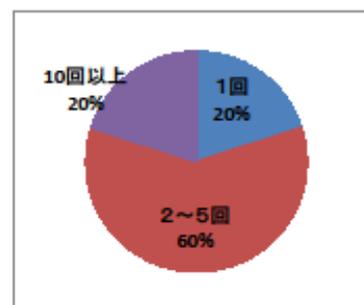
問11 インターネットで議会の生中継・録画放送をご覧になったことはありますか。

1 ある	6
2 ない	9



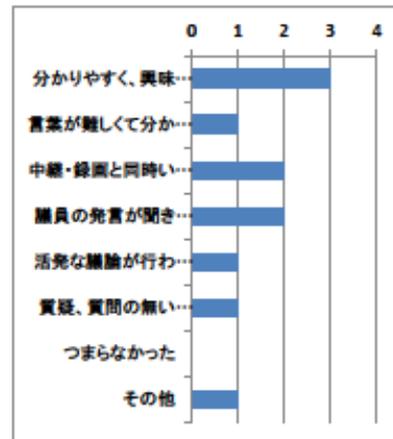
問12 問11で「ある」と回答した方に伺います。インターネット議会生中継・録画をどのくらい見えていますか。(1)

1 1回	1
2 2～5回	3
3 6～10回	0
4 10回以上	1



問12 インターネット中継・録画を見た感想を教えてください。(複数回答可)
(2)

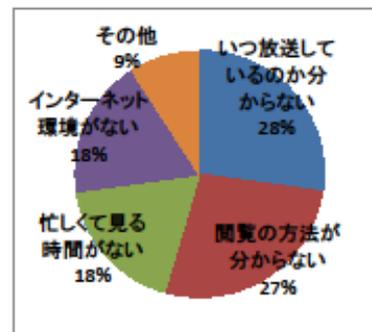
1 分かりやすく、興味深かった	3
2 言葉が難しくて分かりにくかった	1
3 中継・録画と同時議案(資料)が閲覧できず分かりにくい	2
4 議員の発言が聞き取りにくかった	2
5 活発な議論が行われていると感じた	1
6 質疑、質問の無いように満足できなかった	1
7 つまらなかった	0
8 その他	1



※理事者の回答が専門用語が多くわかりにくい部分があった
質問する議員も一般の人が分からないカタカナ用語はやめてほうがいいと思う。

問13 問11で「ない」と回答した方に伺います。インターネット中継・録画を見た事がない理由は何ですか。

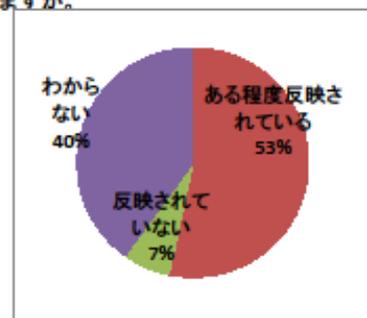
1 いつ放送しているのかわからない	3
2 閲覧の方法がわからない	3
3 忙しくて見る時間がない	2
4 インターネット環境がない	2
5 興味がない	0
6 その他	1



※特に見てまで確認する内容がない為

問14 芽室町議会に町民の声が反映されていると思いますか。

1 反映されている	0
2 ある程度反映されている	8
3 反映されていない	1
4 わからない	6

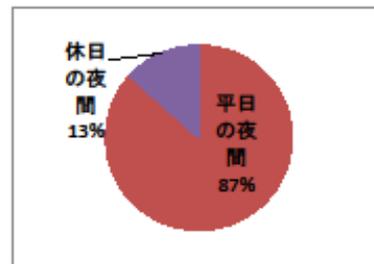


問15 問14のように感じる理由をご記入ください。

【別紙参照】

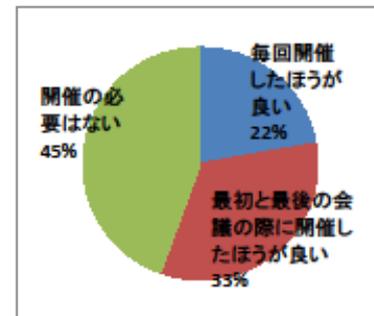
問16 議会モニターと町議会との意見交換会について伺います。会議の開催時間帯はいつごろが良いですか。

1 平日の日中	0
2 平日の夜間	13
3 休日の日中	0
4 休日の夜間	2



問16 意見交換会終了後の懇談会の開催についてどう思われますか。

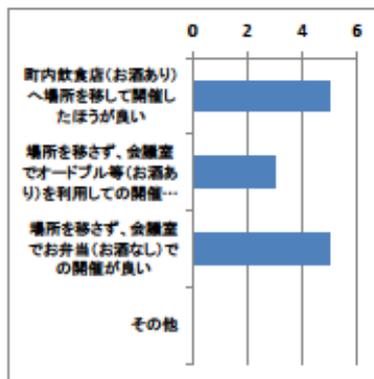
1 毎回開催したほうが良い	2
2 最初と最後の会議の際に開催したほうが良い	3
3 開催の必要はない	4
4 その他	0



※議員さんに一般質問したい
 ※1回はあってほうが良いと思う
 ※良くない慣習だと思う。やめたほうが良いと思う。馴れ合いになる。
 ※どちらでもいい。
 ※1回
 ※最後の際に開催したほうが良い。
 ※意見交換会と懇談会の違いは何でしょうか？

問16 開催場所、内容についてはどう思われますか。(複数回答可)

1 町内飲食店(お酒あり)へ場所を移して開催したほうが良い	5
2 場所を移さず、会議室でオードブル等(お酒あり)を利用したほうが良い	3
3 場所を移さず、会議室でお弁当(お酒なし)での開催が良い	5
4 その他	0



問7 議会だよりの感想等

- スマイルと一緒に投函されますが別紙のため、一度見ると見直すことが正直ありません。無理かもしれませんがスマイルと一緒に記載するとアプリでも見るができるので良いと思います。
- 議会だよりは報告と見ています。ただモニターへ別便で送って来るのは（私だけ？）必要がない。町にすまいるに折込されているのでムダだと思う。
- 議会を身近に読むことができ議員さんの考え方も伝わってきます。
- 一般質問のその後は大変興味深く読んでいます。意見交換からの意見などその後、町の政策・事業にどう反映されたか町民は知りたいと思う。議会だより→見出しや字の大きさなど全体的にみやすく工夫されていて良いと思う。もっと多くの町民が読んでくれるといいですね。
- 一般質問のその後が良かった。

問9-2 ホームページの感想等

- 他の議会のホームページを見るとキッズページで議会について簡単な言葉で説明されていたりイラストがたくさん使われていてわかりやすかった。もう少し柔らかい印象のトップページの方が良いと思う。
- 使い勝手が良いと思えなかった。明るい感じではなかった。

問15 町民の声が反映されている、いないと思う理由

- 特に町民からどのような声が集まっているのか、あまり分からない為。
- 議会は町民に付託された決議をもって町の運営を行う訳ですね！議会は役場の為ではなく町の為にお仕事をされている訳で町民の為にお仕事をされている限り町民の声を反映しているはずですか？！不要な質問だと思います。
- 議会で問題視される事がある（議員が質問→町が答える）
- 意見交換会など参加できない方や発言が苦手な町民の声は届けていないように思える。
- 町民の意見を聴く機会を数多く開いたりしているから。
- この議会モニターがあることで議員さんが我々町民の声を聞いて頂いているから。

- モニター会議で話し合われたことについて、各議員がどのように感じその後の議員活動にどう反映されているのか、結果どうなったのかなど伝わらない。
- 議会モニター会議に参加できていない為。

問17 各委員会の抽出事業についてのご意見

【総務経済常任委員会】

1 地域資源を活かした観光振興

- スカイパークの件は意味が分かりますが、既存のコンテンツを体系づけるためのコンセプト・・かっこよく書いてありますが、よく意味が分かりません。もう少し誰もが理解できる内容で記載して欲しいです。内容に対しての意見でなくすみません。
- 展望台の風景は素晴らしいのにPRが足りない様ですね「なつぞら」話題にならず残念！
- ワイナリーは将来赤字にならない様な起業を望みます！将来町のPRになる様期待！
- 調査継続は遅すぎますね！問題を後回しにして解決しようとするのは若い世代に失礼！
- 今出来ないのではなく今までやってないだけでは？職員ではなく議会がやらないと！
- 新嵐山荘の温泉を掘る
- 全国的に有名な芸術家が居ますので、その人達の作品展示会等、資源のみならず文化と結び付け人々の交流をはかってはどうか
- 産業まつりをやっていた頃は沢山の人が嵐山を訪れていました。何か人を集めれるイベントをやっては？
- 嵐山にキャンプ場を再びという声もある。
- 基幹産業の農業と融合させたキャンプ場にしてはどうか？
- キャンプ場横に畑があって自分で収穫した野菜を使用してバーベキュー
- カレーセット（めむろ産）が買える（手ぶらでキャンプが楽しめる）など
- これまで町民からの意見や大学生が茅室に入り考えてくれたプランなどが無駄にならないよう、観光振興が形になって行って欲しいです。
- キャンプ場が台風によって使用できない状況ですが、どうせなら広く整備し観光資源また町内外の人が集まる場所にしてみては。

- 街の活性化をねらうのであれば、芽室公園をもっと活用した方がいいと思います。
- 特に遊具を誰もが見える公園のど真ん中に置いて、子供を呼びこむことで親や祖父母など沢山の人が芽室を訪れる事につながると思う。私も子供がいますが遊具が充実している更別や足寄に何度も足を運んでいます。
- 公園の遊具を整備する事で多くの人を芽室を訪れるチャンスを作ることができると思います。是非検討して頂きたいです。
- 主な調査・提言内容～難しくてわからない。コンテンツとかコンセプトとかなんのことか全然伝わらない。
- 町民が町の観光資源を認識する事も必要だと思います。まず町民が利用することで他への発信による広がりも見えてくると思います。
- 運営をしていくためのお金を考えるとあった方がいいが、しっかりと考えて行かなければならないと思う。
- いわゆるシャッター街が広まりつつある中で上手く利用したい。シャッターを利用して絵を描くとか・・・

2 農村地域公共交通手段

- 毎年同じ議論がされいていると思います。本当は何が問題で、その問題について一つでも試験的に行い、その結果をどう改善していくかの議論を聞きたいです。
- 研究・検討はもう少し早くするべきでしたね！
- タクシー運賃助成も良いと思うが町内のタクシーの台数も少ないと聞く。
- じゃがバスより、小さい車を何台か運行してはどうか？
- 走行しているじゃがバスを見ると乗車人数が少ないようなので・・・
- 農村地域が広い為、難しい問題だと思います。
- タクシーチケットの配布
- 交通手段を考えることも大切ですが、その先の高齢者のための施設が不足していると思います。
- 既存の交通資源とはなんですか？新しい方法は考えないということですか？
- 農村部での各世代が必要もしくは、あれば使いたい時間の調査をして利用者に合せた運行による経費の削減による運行
- 父母が今後は必要になるので策を考えて頂きたい。
- 早い時間の駅への乗り合い、タクシー等（通学に利用したい）

【厚生文教常任委員会】

1 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

- 多くの問題があるとは思いますが、受診したいときに受診したい科がやっていないや、多くの病院もそうですが、院外処方のため薬代が高額になるため、院内処方の所などに行ってしまう傾向があります。病院+院外薬局で5,000円～10,000円近くなる時もあります。やはりそこを考えると病院に行くのやめよう、薬局で薬だけ買って治そうとすることが私は多いです。外科や整形などでない限り、町立へ受診することは少ないと思います。
- 公立芽室病院は将来の子供達に残すべき財産です！先生・看護師・職員全て財産です！
- 経営の健全も大切ですが通院・入院患者が少ないのは病院のお蔭で健康になったと思う事も大切です！病院はまさかの時に保険の様なもので税金で賄えるなら赤字という観点ではなく町民の健康維持の為の投資であることを町民に理解を求めても良いのでは？
- 良い医師が来ても2年位で退職して別な所に行ってしまう。この辺をどうしたら残っていただけるかと考えなければならない。
- 予算面も大切だと思うが病院関係者の働きやすさなども大切だと思う。
- モニター会議で出た意見が取り入れられる事を望みます。
- 維持・継続は強く望む
- セミナーを開催するなど、存続のために町全体で取り組もうという姿勢を感じている。
- 各世代が求める地域医療の調査をして、他に行っている人々の理由、なぜ他の病院を求めるのかを知り公立芽室病院の医療体制に反映していく
- 経営の話もあるので、なかなか難しく帯広の病院を利用している。

2 高齢者福祉の充実

- 現実あまり携わることがないのでわかりませんが、老後のため充実させるために町も支援し労働者の待遇改善は急務だと思います。
- 福祉の安心・生活について将来の理想とする姿が見えないですね！
- 現状を維持するのではなく将来に夢はありますか？高齢者という言葉が良くない！
- 将来の希望に年齢とか性別とか関係のない事であり高齢者福祉の充実という言葉が出るのは今現在幸せを実感出来る福祉が無いということなので、は？！

- 地域の中で隣り近所に住む人も知らない方も多し、介護サービスも必要ですがお茶会みたいな場所でゆっくりくつろぎの場所も必要
- 認知症の方にどこか集える場所はないですか？と聞かれた事がある。オレンジカフェを紹介したが
- お年寄りの方が町のサービスや情報をもっと簡単に知ることが出来ればよいと思う。”
- 皆さん得意な分野をもっているのもっと活かせる社会
- サービスなどは充実している
- 高齢化が進む中、国の政策は削減ばかりになっていると感じている。これ以上のサービス削減にならないようにしてほしい。
- 高齢者が増える中、介護職員への待遇改善は急務だと思います。
- 農村部なので今後交通の便を解決して行かなければならない。

3 スポーツしやすい環境づくり

- 年齢問わず全ての町民が利用出来るスポーツの取り組みが大切だと思います。
- 今、今後必要なスポーツ施設はどの様なものなのか町民の意見を聞いてみてはいかがですか。
- 健康促進のために運動する場所は必要だと思う。
- プールの建て替えについては体育館など関連する施設を含めて慎重に考えて頂きたい。茅室の人口に見合った適切な大きさを望む
- 少年団について先生がボランティアで指導しているのが現状である。教員の多忙化解消のために対策が必要。
- CSについて具体的に何をするのか知らない。
- 例えば小学校の図書館の整備や読み聞かせなど地域の人に協力してもらうなど可能なのか？
- 若い人（若い時から）体力をつける努力
- 我が家でTV体操でもよし・・・
- 高齢者の利用しやすいプールを作してほしい。
- 可能な限りの施設の集積化をビジョンに将来に向けての計画の推進が必要だと思います。
- 子供が活動していないので具体的に考えられない

4 学校教育の充実

- 教育の充実を維持するために、教員の待遇も改善したほうが良いと思います。今は教員に対し子供へ求めるものが多いと感じます。教員も人間で

す。日々の業務に土日少年団など休みなく働いているように感じます。労働環境改善が騒がれている中、教員の待遇改善も急務と思います。

- 本地用の学校は小学校と中学校と高校の先生の交換授業が無いのはなぜでしょう？
- 中学校の先生は小学校の5～6年生の授業を受け持ち子供達が中学校に行っても慌てることなく同じ気持ちで授業を受けれる様な体制が必要だと思います！
- 未来の宝の子供たちを守っていききたい！（先生だけでなく）
- 少子化にあり各学校の部活動など大変なので後々統合が必要
- 授業時間が不足していると聞きますが、私たちが子供のころ楽しみにしていた課外授業やイベントごとを減らさないで頂きたい。
- 子供が子供らしく学校を楽しみに登校できるように。
- 通学路の安全対策に力をいれて欲しいと思います。ボランティアだのみにせず街としての取り組みにしてほしいと思います。
- 少年団活動は数多くスポーツ系・文化系とあるのに中学に進学してからの分散と継続して同じ事を出来ない。部活動の現状の改善が必要かと思えます。
- コミュニティ・スクールなど少子化問題がある今、非常にいい取り組みだと思う。

5 生涯学習の推進

- 学びの場を町外に求める様ではまだまだ！学びの意欲ではなく場所の確保が大切です！
- 多くの学びのニーズがあり出来るところから取り組んでいくことが必要ですね！
- 町民が求める学びの場は町内にあるのは理想ですね！
- 以前、教育委員会で「シニアなんとか」をしていたが（勉強会）2年で終わってしまった・・・
- 生涯学習は色々なパターンを作り町民はそれによって自主的に参加する気になります。何もない所に人は集まりません。
- 柏樹学園やサークル活動ボランティアなど主体的に活動している人は多いと思う。
- 町民活動支援センターの方も親切に相談にのってくれる。今後も活動しやすい様に環境を整えて頂きたい。（柏樹学園に通う方の交通手段など）
- 図書館がとても残念な状態です。10時開館18時閉館では一般の人は使えません。木曜日だけ2時間延長したところで、その日残業したら本を選

ぶ時間もありません。職員の対応も残念。これでは町の文化水準は低いままです。

- 学びたい時に手軽に学べる環境が作られると良いかと思います。

6 安心して生み育てることができる子育て支援

- 昨年の妊婦加算等の国の取組の課題に敏感に町として対応して行かなければなりませんね！
- 病児保育施設も必要だと思います。
- まず、朝食をしっかり食べさせる（子）に親が努力。オニギリ一個でも・・・（よくおかしだけという声も・・・）
- 子育て支援は年々充実していると思う
- 子育て支援の政策は頑張っていると思います。
- 待機児童が出ないように気をつけて欲しいと思います。
- 0歳～3歳の乳児保育・病院時保育などの充実に力を入れて欲しいと思います。
- 地域全体で見守る環境作り。薄れつつある他人から教わる事の出来る環境作りが必要だと思います。

問18 議会に対するご意見、ご要望

- いつも芽室町の為に、お力添えいただきありがとうございます。全ての項目に対してもっと早く改善や支援が出来ないものでしょうか？簡単なことではないと思うのですが、今現在困ってる人がいるのは事実だと思うので調査も必要だと思うのですが、少しでも困ってる人を減らすようにして下さい。
- 芽室町に住んでいて将来に夢がありますか？希望はどうか？大切な人と将来が現実のものとしての幸せが見えていますか？芽室町は日本一良い所だから来なさいよと即言えますか？芽室町議会の皆さんはもちろん笑顔で答えられますよね！
- ある新聞の見出しに道内「29町村議会一般質問なし」という記事を読み芽室町はどうなのか？と思い3月の一般質問の傍聴に行きました。その日は4名の議員の方の一般質問があり、活発に討論されていると思いました。
- また芽室町議会は「議会改革度調査」4年連続1位に輝き、常に改革を行っていて素晴らしいと思います。しかしながら、町議会議員選挙の投票率が下がっていて残念に思います。若い世代の方には、まだまだ議会は敷居

が高い、難しそうなどイメージがあるのではないのでしょうか。議員さんの仕事をもっと知ってもらうために「ある議員の一日の仕事」など議会だよりに特集してはどうでしょうか。議会をもっと身近に知ってもらい町民と議員さんが気楽に意見交換ができる場をもっと増えると良いと思います。(少人数、カフェスタイル、イベントの一角で話す場を設ける・・・など) 町民の声を地道に拾い続け、その声が町づくりに反映されれば、町民の意識も徐々に変化するのではないのでしょうか。

- 町民により添う議会運営の継続をよろしく願います。
- 町を良くするために町民一人ひとりが行動する事も大切だと思いますので、そのような提案もどんどん発信してください。

問19 まちづくりへのご提案

- いつもありがとうございます。
- 日本一愛に富んだ住民 日本一夢のある街。日本一幸せな街 日本一住みたい街である事、それを望みます！政策はその為の物。2番ではダメなんです！
- 職員がどの様な政策とかまちづくりを考えているのか、1人ひとりの意見を聞いてみたいです。そして、どの様にしたらそれを協力出来るか提案したいです。さすが芽室町という街作りをしたいですね。よろしく願います。
- 芽室町は年々充実した政策が増えているように思う。議員さん達が色々な要望していて本当にありがたいです。今後も町作りのために願います。
- モニターとして町議とお話しさせてもらえる場面がありますが、一町民にとっては町長も町議も行政も遠い存在のように思います。この様な役割をいただいて町の事を深く考える場面も多くありましたので町民が意見交換の出来る場面作りをもっともっと増やしていけたら良いのではと思います。様々な問題を自分事として、住みやすい町作りの一員として考え活躍出来るようにもなっていくと思います。
- 農家なので農業振興を重点的に考えていただけるのはありがたい。町民の皆さんにもっとそれを理解し応援してもらえるかを考えたい。

議会モニターレポート内容（参考）

○長谷川 修さん

9月14日、行政報告で町長から北海道胆振東部地震による被害の状況と町の対応についての説明がありました。

北海道初の全道ブラックアウトを経験し本町も甚大な被害を受けました。

町民にとって災害時に情報の把握が一番の関心事であるものの、町としては情報の収集に苦慮し、町民それぞれが独自に情報を集めていました。

今回の災害に対して行政の責任の再認識と今後の課題が明確になりました。

①災害の状況把握と情報収集

災害の状況把握と情報収集は町民の生命と財産を守る最大の一步であり今後迅速になされるよう十勝・道・国と一体となって早急な改善がなされすべきだと思いました。

②情報の公開と避難対策

ブラックアウト時の自宅介護者に対して発電機対応されている避難場所の整理がされておらず、早急な対策が必要だと感じました。また町からのライフライン情報が伝わらず混乱をきたしましたので、今後全町民に迅速にライフライン等の情報を公開し、各戸が必要な対策が取れるよ早急に対応を改善すべきだと思いました。

③ブラックアウト対策の再検討

今回のブラックアウトは当然起きる事柄であり今後の対策について各管内にある発電施設を分散して利用できる緊急対策を検討するように、町より要望し十勝・道・国と一体になって早急な改善がなされるべきだと思いました。

ブラックアウトは机上の計画の中で起きるのではなく現場で起こるのです！

○千田美喜子さん

9月3日の議会を傍聴させてもらいました。

まず驚いたのは議員さん全員がタブレットを机に載せていたことです。数年前に議会傍聴をしたことがあったのですが、当時は紙の議案しかなく、議員さんたちは机の上の議案を見ていたのですが、今回傍聴しましたら机の上にタブレットを立て、視線を上げて審議している姿に驚きました。

ただ残念だったのは当日の傍聴者が記者を含め4人。少ないなど感じ帰りましたが、議場ならではの臨場感もありました。

その後、議会だより10月号を見たら、インターネット傍聴者が「218人」となっていたことに、また驚きました。今の時代は自宅などでパソコンから議会の傍聴している人がこんなに多いんだなど。

つくづく時代の流れ、時代の変化を感じました。

○坂田 恵子さん

(議員研修会について) 開催趣旨に「町民と共に考える」とあったので参加しましたが、町民が少なすぎて驚きました。

第2部では、導入でゲームをしたので、場が和んで良かったと思います。

グループディスカッションではまさかのリーダーになってしまい、不慣れなため正直荷が重かったです。他町の議員の方もいたので、慣れた方に進行して頂いた方が話し合いもスムーズだったのではないかと思います。講師の方の提案なので仕方ないかもしれませんが、若い方の参加を求めるなら、ご配慮願います。

議会改革度調査4年連続1位というのは、本当にすごいことだと思います。講演の中で「町づくりは、議会が決める」という言葉が印象に残りました。町民それぞれ価値観が違うため、今後も丁寧な話し合いを重ね、よりよい芽室町になることを期待します。

○加藤 順子さん

昨年からは議会モニター会議で芽室病院の経営改善について、他のモニターさんたちと一緒に意見を出し合ってきました。

出された意見は、利用者側からの視点で、数多くの率直な意見に共感し、それらが実現したらもっと利用したいと思えるような内容でした。

芽室町としても、病院改革を掲げ、経営安定化に向けて動きだしているさなか、分娩の休止…今後、産婦人科も休診と言うとてもショックな事態が起きてしまいました。診療スタッフの確保もとても難題のひとつだと痛感しました。

とても課題が多い経営状況ですが、地域住民にとって必要不可欠な総合病院だと思っているので、安心して暮らせるよう、これからの病院改革に注視し、また議論の機会があれば、モニターの皆さんと積極的に討論していきたいと思えます。

○小森 豊弘さん

正村議員の昨年6月の一般質問にありました、町内会未加入者への支援対策の件で少し考えさせられました。

未加入者への支援も大切だとは思いますが、今一度、加入者へも町内会加入意義を行政と協力して、お知らせした方が良いと思いました。

基本は全戸加入が前提で考えてると思います。なんとなく加入している方、役員や町内会業務は誰かやってくれば入るが、自分はやりたくない、やるなら入らないなど、そのように考えてる方も少なくないと思います。

誰かがやってくれると思ってる方が多いと、誰も関心を持たなくなると思います。

昔は町内会の必要性が多くあったと思いますが、今は行政サービスも充実し整っているので、わざわざ町内会に入る必要性が薄れて来てると思います。

それぞれの町内会で会費を徴収して運営しますが、会費も月々換算ですと少額ですが1年分となると出費も大きくなります。

お金を徴収して運営する以上は、町内会とはどのような目的を持ち、どの様に運営されて生活にどのような重要な役割を持っているかなど、町内会に入る事の大切さをお伝えする事により未加入者も減少するのではと考えさせられました。

町内会に入りみんなで助けあい、綺麗で快適な環境が保たれている事に改めて気づかされました。

○高道 豊さん

昨年のモニター会議で話し合われた「公立芽室病院の現状」について、赤字が続いているとは聞いていましたが、深く知る事はなかった自分がいる中で、医師、看護スタッフの不足、外来患者数の減少、助産師の減少による産婦人科の休診など、抱える問題に直面しました。

特に外来患者の減少について、モニターの方々と話している中で、そもそもなぜ公立病院に行かないのか、が話し合われ、診察を受けるまでの待ち時間が長い事や、医師の減少による診療時間の減少など、町民が思う視点での問題が浮き彫りにもなりました。

私自身、地域診療機関が無くなってはいけないと思う中で、このまま休診、廃止が増えていく前に、公立病院の存在意義に対して町民同士の議論する場面が必要なのでは、と思いました。

○土井 慎悟さん

今年度より、初めて議会モニター会議に参加させて頂き、議員さん達と議論するなかで、町政について感心が沸き、今後の町政について知る事が出来る、よいきっかけになりました。

議会モニター会議では、様々なテーマのもと議論がなされていました。私は、2回とも「公立芽室病院の総合的な医療体制の維持、発展」と言うテーマについて議論しましたが、現状を知ることで、課題が山積みであると同時に、この課題を克服して行けば、公立芽室病院が、地域医療の基盤として、今まで以上に存在価値が上がって行くと思いました。

また、公立芽室病院のフェイスブックページに、いいね！をして拝見していますが、病院の情報が毎日の様に更新されており、もっと多くの町民の皆さんに登録してもらえる様に情報発信して行って頂きたいと思いました。

○小林 覚さん

今の議会モニターは議員の方々のテーマに付き合わせられている感じがします。芽室公立病院、農村地区の足、嵐山問題を議員の皆様とディスカッションを二年近くしましたがモニターの皆様は実現出来るか出来ないかは別にして自分の考え素直に発表をして来ました。

しかし最後には大学の先生の講演（アドバイス）で幕引きのように感じます。農村部の方が齢を重ね車の免許証を返納して足がなくなるのは解りますが、それをモニターに聞くのではなく議員の皆様の仕事ではないでしょうか。議員の皆様と毎回かディスカッションをしましたが皆様が決めたテーマにあなたはこっち、あなたこっちと分ける事ではなく、モニター自身がこのテーマで討論をしたいという気持ちにして欲しいです。

今回の選挙で少なくとも新人議員1人入ると思います。是非16人で芽室町を良くして下さい。

○松岡みちよさん

議会モニターになって2年目になりました。

毎回、モニター会議に参加させて頂いて、いろいろな議題について話し合っていくなかで、議員さん達は、芽室町・町民のために、一生懸命活動していただいていることが分かりました。

私もモニターに参加する前は、正直あまり関心が無かったのです

が、参加してはじめて分かったことがたくさんありました。

もっと多くの方が、議会モニターに参加して、芽室町をよりよくしていくための議論をしていただきたいと思います。

○珠玖 謙一さん

中心市街地のまちづくりについて

私も中心市街地で商売をしている者にとって、何より重要な関心は街のにぎわい、活性化をもたらすまちづくりの政策です。

全国どこの街に行っても過去に栄えていた中心市街地がいまや疲れた場所になっているという空洞化の問題は、いまや商店街や商業者だけの問題ではなく町や地域全体の問題としてとらえなければなりません。

商業者、議会、行政そしてここで暮らす地域住民も巻き込んで意識改革を進め、この町の問題を真剣に議論する場が必要だと思います。

○藤村八重子さん

今回、町議選が行われて、皆さんの意見をあちこちで聞かせいただきました。

選ぶ際の参考になる、候補者の方のプロフィールが掲載された選挙公報を、「もう少し早く配ってもらえないか」、「文字を大きくしていただけるとありがたい」との意見を多く聞かされました。

○武藤 雅紘さん

議会モニターになり2年目になりますが、議会モニター会議に参加させていただいて、毎回自分が住んでいる町の問題や課題があることに気づかされます。

例をあげれば地域資源を活かした観光振興です。今、芽室町には他町村とくらべて観光により人が集まれるような場所はほとんどないと思っていましたが、モニターの皆さん議員の皆さんと未来の話しをするうちに、とても魅力的な町になるのではと思わされます。嵐山はそのうちの一つになると思っています。たとえば展望台から見える景色は見なれた自分にとっては、ただの畑と防風林かもしれませんが、都会の人にとっては自然あふれる風景に変わります。その風景は芽室町で一番の観光資源なのではないでしょうか。

観光振興という課題は一部ですが今までたくさんの課題について、議会モニター会議で話し合われてきましたが、この会議で芽室町の未来を描いた発想がいつか実現することを願っています。

○小森 真弓さん

議会モニターのお話をいただく前は町民でありながら、町政に余り関心がありませんでしたが、議会モニター会議に参加させて頂き議員の方々とお話しをする中で、茅室町を住み良い町にするために一生懸命活動していただいていることが分かりました。昨年の議会モニター会議で、農村地域公共交通手段の自力移動困難者（高齢者）へタクシー運賃助成の方向で取り組むとのお話を聞き、農村地域に住む私としてはとても興味深い話を聞けました。

また、この事についての議論の中で、モニターの方々から意見・提案を聞く事も出来ました。

課題はたくさんあると思いますが、議員さんと町民で意見交換をしながら「高齢者にやさしいまち」「子育てのしやすいまち」「この町に住んで良かった」と思える茅室町になってほしいと思っています。

○藤井 信二さん

5月から議員さんの顔ぶれが変わり、また、若手の方も増え、更なる茅室町の発展が楽しみです。農村部のことしかわからなかったがモニターを通して、全体の町政が知れて良かったです。特に、保育所、小学校に子供がいるので、子供が育てやすい、町作りを考えていきたい。自分1人が言っても変わらないと思わず、1人ひとりがという気持ちを持って発言していき、少しでも何か変わればと思い努力していきます。

○池戸 朋弘さん

議会モニターに初めてなり1回目の会議に参加して、そこでは新嵐山スカイパークの今後について話し合いました。冬はスキー場、夏はキャンプ場と自分が子供の頃にもよく行っていましたが、台風の影響でキャンプ場再開の目処が立っていません。もう一度キャンプ場の再開がないのかと話も出ましたが、莫大な費用がかかるとわかり、簡単にはいかないと思い知りました。こんなにも良い場所なので今後イベントなどに活用しやすいように、トイレなどの設置を強く求めます。また議会だより200号の中にあった「追跡・一般質問のその後」は議員さんの質問に対して実現されている内容がとても分かりやすく、今後も掲載して頂きたいです。

○畠山 大輔さん

モニター制度は続けるべきだと思います。

町政に積極的にたずさわる人が現状なかなか現れませんが、根気

よく続けていけば浸透していくと思います。又、限られた授業時間ではありますが、町内の小・中・高の子ども達とも意見交換の機会を増やして欲しいと思います。

○渡邊しのぶさん

議会モニターを経験させていただき、町議の方々と意見交換することができました。議会だよりを読むことから始まり議会に興味・関心を持つようになりました。議員さんはもちろんですが、町づくりのために真剣に気さくに話し合う場に参加させていただき貴重な経験をすることができました。

○木村 真之さん

地域資源を生かした観光振興についてはやはり新嵐山を目玉として景観、食をアピール。地元民には既存のハイキングコースをきちんと整備しリニューアルして呼び込みたい。

村地域公共交通については、やはり今あるスクールバスを有効活用できないものか？

公立茅室病院の医療体制の維持・発展については、まだPR不足と感じる。特に眼科・小児科・整形外科など地域外に流れている所をアピールしたい。また各医師の過去の実績などもアピールして欲しい。また民間委託も今後は考えていかなければならないのかも。

○高道 豊さん

議会報告会・意見交換会に関して。

議会モニターとの意見交換会のみならず、様々な世代・様々な立場の方々との意見交換をされているのを拝見し素晴らしい取組みだなと思います。様々な意見を聞き議員の方々が町政に反映しているのはもちろんだと思いますが、私自身もモニターを通して様々な問題・課題に直面し、町の今・未来に向けてどの様にしていくべきなのか考えさせられ、一町民の時では考えもしなかったなと思いましたし、色々な場面で意見交換に参加された方々も同じ様に思ったのではとも思います。まだまだ議員との意見交換と言いましても、何を話すの、何を話したらいいのと敬遠される方も多いと思いますが一人でも多くの町民の方に町の事に触れる機会として創り上げて行って欲しいなと思います。

○藤村八重子さん

2019年7月1日「改正健康増進法」が施工されるにあたって、夕

バコの自販は中止となりますとハリ紙が・・・愛煙家にとってはつらいことと思いますが、これを機会に1人でもへって健康で長生きして欲しいものです。

芽室町議会モニター設置要綱

(平成24年3月30日制定)

(目的)

第1条 この要綱は、芽室町議会モニター(以下「町議会モニター」という。)を設置することにより、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、芽室町議会(以下「町議会」という。)の改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 町民 本町の区域内に居住する者をいう。
- (2) 会議 町議会の本会議、常任委員会、特別委員会及び町議会議長(以下「議長」という。)の下に設置する組織等をいう。

(定員)

第3条 町議会モニターの定員は、20人以内とする。ただし、議長が必要と認めたときは増員することができる。

(資格)

第4条 町議会モニターは、次の各号に定める要件を満たす者とする。

- (1) 年齢満18歳以上の町民であり、かつ、芽室町職員、議員又は各種行政委員でないこと。
- (2) 町議会のしくみ及び運営に関心があること。
- (3) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

(募集方法)

第5条 町議会モニターは公募とする。ただし、議長は適当と認めた団体等に対し、適任者の推薦を依頼することができる。

(委嘱)

第6条 町議会モニターは、公募者及び推せん者のうちから議長が委嘱する。

2 議長は、前項の規定による町議会モニターの委嘱に当っては、町議会モニターの年齢・居住地等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

(解任)

第7条 町議会モニターが次の各号のいずれかに該当するときは、議長は当該町議会モニターを解任できるものとする。

- (1) 第4条に規定する資格を失ったとき。
- (2) 町議会モニターから辞任の申し出があったとき。
- (3) その他議長が必要と認めたとき。

(任期)

第8条 町議会モニターの任期は1年とし、再任を妨げない。

(謝礼)

第9条 町議会モニターは無償とする。ただし、議長が必要と認めたときは、支給することができる。

(職務)

第10条 町議会モニターは、次の各号に定める職務を行うものとする。

- (1) 会議(非公開で行われるものを除く。)を傍聴し、当該会議の運営に関する意見を文書(電子メールを含む。以下この条において同じ。)により提出すること。
- (2) 「芽室町議会だより」及び「芽室町議会ホームページ」などに関する意見を文書により提出すること。
- (3) 議会の政策提案に関すること。
- (4) 議長が依頼した町議会の運営に関する調査事項に回答すること。
- (5) 町議会議員と1年に2回以上、意見交換を行うこと。
- (6) その他議長が必要と認めたこと。

(提言等の取扱い)

第11条 町議会モニターから提言等が提出されたときは、議長は必要に応じ関係する会議に当該提言等を送付し、当該会議において検討させるものとする。

2 前項の規定による検討結果は、原則として当該提言等を提出した町議会モニターに通知するとともに、議長が別に定める方法により公表するものとする。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は議長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成24年12月1日から施行する。
- 3 この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

歴代議会モ二夕一名簿（敬称略）

H24	明瀬健太郎 蘆田千秋 犬飼健二 猪野毛勝啓 大貫正光 児玉 渉 小森瑞恵 佐藤正行 竹内仁美 森浦英樹
H25	江崎 満 川合拓男 黒田卓裕 駒沢建治 小山智幸 鈴木久恵 鈴木哲也 土井久美子 馬場 繁 細野浩伸
H26	川瀬幸枝 下保孝志 川合卓男（再） 黒田卓裕（再） 駒澤建治（再） 小山智幸（再） 鈴木久恵（再） 中田智恵子 古田 聡 宮間教年
H27	大宮久美子、奥村紀之、下保孝志（再）、寺町智彦、中田智恵子（再） 西川幹生、畑中庸助、古田 聡（再）、武藤健護、宮間教年（再）
H28	市橋 明、井原有二、奥村紀之（再） 川野陽美、佐々木玄徳 高桑衣佳、寺町智彦（再）、鳥本和宏、中捨智也、中田智恵子（再） 西川幹生（再）、西村有里、畑中庸助（再）、平岡早苗、廣田由美 堀井和宏、武藤健護（再）、山川昌則、山本雅代
H29	井原有二（再）、川野陽美（再）、佐々木玄徳（再）、高桑衣佳（再） 鳥本和宏（再）、中捨智也（再）、廣田由美（再）、堀井和宏（再） 山川昌則（再）、長谷川修、武藤雅紘、岩佐幸治、堀切佳寿子 高道 豊、加藤順子、藤村八重子、小林 覚、松岡みちよ 木村真之、小森豊弘
H30	長谷川修（再）、武藤雅紘（再）、岩佐幸治（再）、堀切佳寿子（再） 高道 豊（再）、加藤順子（再）、藤村八重子（再）、小林 覚（再）、 松岡みちよ（再）、木村真之（再）、小森豊弘（再）、坂田恵子、 畠山大輔、土井慎悟、珠玖謙一、小森真弓、渡邊しのぶ 千田美喜子、池戸朋弘、藤井信二
計	計99人（実人数64人）



北海道芽室町議会

082-8651

北海道河西郡芽室町東2条2丁目14番地

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel 0155-62-9731 fax0155-62-9813